



小久保 照枝 議員  
公明党

# 問 出産・子育て応援交付金は

# 答 現金支給で対応

**問** 伴走型相談支援の現在の取り組みは。

**答** (健康推進課長) 母子手帳交付時に母子保健コーディネーター、保健師と面談し、妊婦と今後の子育て応援プランを一緒に考える。産後は生後2か月ころ、赤ちゃん訪問にて母親と面談。

**問** 出産・子育て応援交付金を活用した支援策の推進は。

**答** 出産応援ギフト5万円、子育て応援ギフト5万円を支給。

**問** 交付方法は。

**答** 子育て応援プラン作成時、産後の健康診査受診時。

**問** さかのぼり適用者への対応は。

**答** アンケート調査を実施し提出後支給。

**問** 経済支援にマイナンバーカードを利用できないか。

**答** (健康福祉部長) 今後、法改正等により、マイナンバーを利用した支給方法も考える。

**問** 妊娠から出産・育児まで母子手帳のアプリを導入する考えは。

**答** 国においてもアプリ導入の検討を進めており動向を注視。



<b>問</b>	子宮頸がんワクチン接種の勧奨を
<b>答</b>	市民への周知徹底を図る

**問** 子宮頸がんワクチンの積極的接種にあたり対象者への周知は。

**答** (健康推進課長) 2種混合予防接種案内と一緒に個別通知。

**問** ※キャッチアップ対象者への周知は。

**答** 予防接種の案内と3回接種分の予約票を個別通知。

**問** 今年度直近までの接種率は。

**答** 定期接種対象者7.0%、キャッチアップ対象者7.2%。

**問** 勧奨再開の市民の反響は。

**答** 少しずつ接種者が増加。

**問** 9価HPVワクチンの安全性は。

**答** 9価HPVワクチンの安全性は。

**答** 技術的観点からは問題ないと評価。

**問** 9価HPVワクチンの定期接種に伴う本市の対応と周知方法は。

**答** 海部地区保険医療部会において検討し、厚生労働省の方針に基づき個別通知。

**問** HPV検査キットを無料配布できないか。

**答** 子宮がん検診を受けて頂けるよう、周知啓発の徹底を図る。

**問** 市長総括を。

**答** (市長) 妊娠期から出産・子育て期にわたり、切れ目のない支援に努める。子宮頸がんの予防については市のホームページ等で周知を図る。

**※キャッチアップ対象者**  
HPVワクチンの定期接種機会を逃した平成9年から平成17年生まれの子が対象。

**【その他の質問】**  
「てんかん治療薬の体制整備を！」